

新型コロナウイルスワクチン
障害福祉サービス事業所等における
接種に関するガイドブック

令和3年7月

<留意事項>

この資料では、国の手引きを参照しつつ、新型コロナワクチン接種に向けて通常必要と想定される準備等について記載しています。

それぞれの施設・事業所の状況などに応じて、この資料に記載のない準備等が必要になる場合、適宜柔軟に御対応いただければと存じます。

目次

第1章 川崎市における施設等での接種に係る実施計画・・・・・・・・・・P 2

第2章 巡回接種に向けた必要な準備等について・・・・・・・・・・P 4

第3章 接種当日のイメージ・・・・・・・・・・P 9

第4章 各種相談窓口・リンク先・・・・・・・・・・P 17

第1章 川崎市における施設等での接種に係る実施計画

巡回接種

接種体制の考え方

- 高齢者施設等の入所者は、感染が発生するとクラスターとなる危険性が高く、感染すれば、重篤な症状となる可能性も高い。
- 施設等に入所する高齢者や障害者、通所系サービス事業所等を利用する障害者においては、集団接種会場や医療機関に赴いてワクチン接種が困難な状況が想定される。
- 施設等におけるワクチン接種には、嘱託医やかかりつけ医等との連携が不可欠となる。
- クラスター対策の推進や業務の特性を踏まえ、高齢者施設等の従事者に対する優先接種体制の構築が必要である。

接種体制の方向性

- 平時の接種方法によるワクチン接種が困難な高齢者施設等においては、施設等の嘱託医等の協力により施設等に巡回して実施する。
- 施設・事業所内のクラスター対策の推進やクラスター発生時の業務継続の必要性を踏まえ、高齢者施設等の従事者に対する円滑かつ優先的な接種体制を構築する。

高齢者施設等の概数

- 市内の高齢者施設等の概数は次のとおりである。

施設種類		施設数
高齢者施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	56
	介護老人保健施設	19
	介護療養型医療施設	3
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）	110
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）	133
	その他（有料老人ホーム等）	130
	小計	451
障害者支援施設	障害者支援施設・療養介護	7
	共同生活援助事業所（グループホーム）	333
	生活介護事業所等	160
	小計	500
合計		951

※ 令和3年5月1日時点

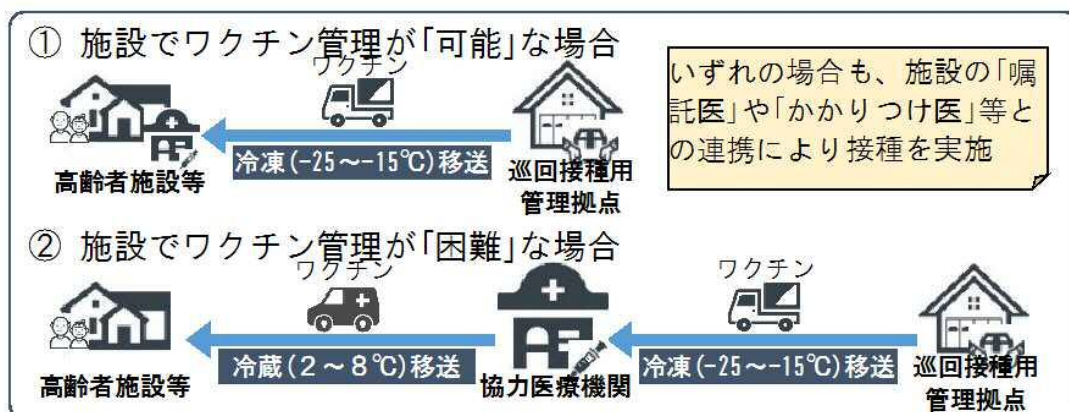
巡回接種体制の支援

- 施設等の嘱託医等による接種体制を構築することが困難な場合は、接種医等の医療従事者の調整を行う。
- 多数の施設等への接種を円滑に実施できるよう、巡回接種を実施する協力医療機関の体制整備に係る支援を実施する。
- 高齢者施設等の従事者向けの接種会場を設置する。

巡回接種の運営方針

- 接種開始日
令和3年4月12日（月）
- 開設日時
施設等及び嘱託医等と調整した日時
- 対象者
 - ・ 高齢者施設等の入所者等
 - ・ 生活介護事業所等を利用する障害者

高齢者施設等の ワクチン移送 体制のイメージ



従事者の優先接種

- 施設内のクラスター対策の推進やクラスター発生時の業務継続の必要性を踏まえ、入所施設の従事者に対する接種会場を設置し、接種を実施する。
(7月下旬から全ての障害福祉サービス事業所等の従事者にも開放)

会場名	所在地	期間
川崎市立看護短期大学体育館	川崎市幸区小倉4-30-1	5月11日～9月下旬
旧川崎看護専門学校	川崎市高津区久本1-4-1	5月12日～8月下旬

- 地域の感染状況、医療提供体制の状況等を踏まえ、居宅・訪問系サービスの従事者に対しては、申出により一般の方に先行して、集団接種会場の予約受付を行えるようにする。また、川崎市立川崎病院・井田病院での接種機会を確保する。

4 接種スケジュールの調整、ワクチンの配送

- (1) 接種を担当する協力医療機関と、1日当たり何人接種するか確認の上（原則、6の倍数）、それを基に接種日程を調整してください。1回のワクチン配分で希望者全員の接種が難しい場合や運営上一度での接種が難しい場合は、医療機関と調整の上、接種希望者のグループ分けが必要となります。2回目の接種も含めたスケジュール調整を行ってください。
- (2) 接種当日の、接種後の経過観察も含めた従事者の出勤・配置についても、併せて御検討ください。
- (3) 各施設・事業所のワクチンの管理体制（保管場所や管理責任者、保管設備等）を踏まえて、ワクチンを確保する方法を調整してください。二重発注することがないよう御留意いただきますようお願いいたします。
 - ア 各施設・事業所での保管が可能な場合、接種に必要な本数を前日までに川崎市から配送します。
 - イ 各施設・事業所での保管が困難な場合、接種医療機関から発注し、当日に接種医がワクチンを持参します。
 - ウ 接種医療機関でのワクチン確保が困難な場合、可能な限り必要な本数を調整しますので、御相談ください。

※なお、4（3）の取扱いは令和3年7月末時点のものです。今後変更がありましたら逐一お知らせします。

- (4) 接種協力医療機関と調整した「巡回接種計画表」を作成し、次の期日までに提出先アドレス宛てお送りください。期日を超えて御提出された場合は、接種前日までに配送できず、希望日に接種が出来ない場合がありますので、必ず期日までに御提出ください。
 - ア 火・水・木曜日が接種初日の場合 ⇒ 2週間前まで
例：接種初日が令和3年8月18日（水）の場合、8月4日（水）まで
 - イ 金・土・日・月曜日が接種初日の場合 ⇒ 2週間前の日の直前の木曜日まで
例：接種初日が令和3年8月21日（土）の場合、8月5日（木）まで
接種初日が令和3年8月16日（月）の場合、7月29日（木）まで

見本

巡回接種計画表（施設→川崎市連絡用）

施設名	
担当者名	
連絡先(TEL)	

→ワクチン納品時にこちらの担当者様宛に伺います。

提出先アドレス ⇒ 4Ovaccine@city.kawasaki.jp

★次の表中に、接種日における接種予定人数を6の倍数で記入してください。本表は、ワクチンの移送管理のために必要なものです。

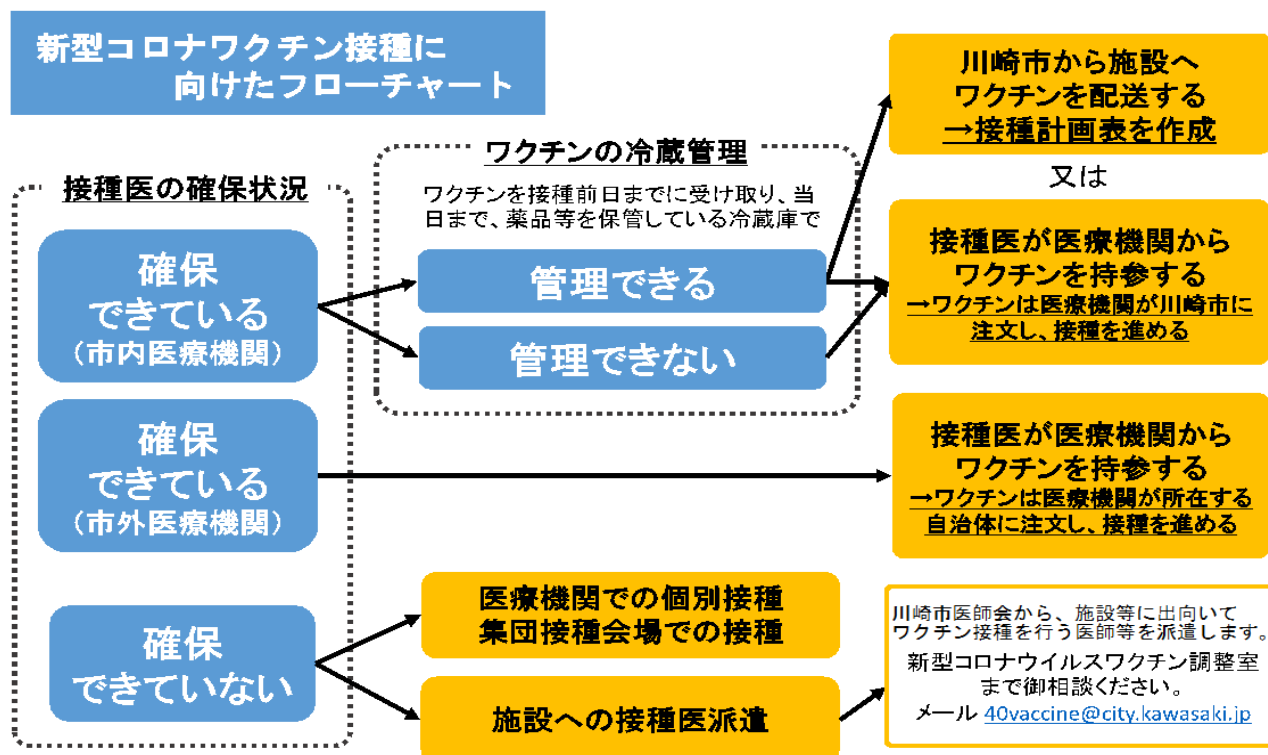
（単位：人）

5月																																					
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月						
接種予定人数																																					
6月																																					
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水							
接種予定人数																																					
7月																																					
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土						
接種予定人数									30																						30						

※ 接種協力医療機関が見つからない場合

新型コロナウイルスワクチン接種に関しては、利用者の特性等から施設・事業所における巡回接種が必要であるものの、接種担当医が確保できず、結果的に接種実施の目途が立たない施設・事業所が発生することが想定されます。

こうした状況に対して、川崎市から川崎市医師会に委託し、あらかじめ登録した医師・看護師が施設・事業所に出向いてワクチン接種を行う仕組みを構築しております。個別に調整しますので、ワクチン調整室に御相談ください。



5 ワクチンの取扱いについて

- (1) ファイザー社ワクチンは冷蔵（2～8℃）で保管する場合、配送日を含めて31日間の保管が可能です。冷凍（-25℃～-15℃）で保管する場合は、最長14日間の保管が可能です。
- (2) 冷蔵の場合、外気温の上昇等により、家庭用冷蔵庫にて保管していたワクチンが一時的に温度逸脱することが懸念されております。そのため、家庭用冷蔵庫による保管を予定されている場合は、家庭用「冷凍庫」にて保管をお願いいたします。なお、家庭用冷凍庫についても、冷凍保管（-25℃～-15℃）時に規定温度帯を逸脱する可能性がございますが、即座にワクチンの使用不可温度（8℃超過）に達することは考えにくいいため、「解凍→再凍結のリスク」を減らすため、ワクチン保管後は、ドアの開閉を極力少なくしていただいた上で保管いただきますようお願いいたします。
- (3) 施設・事業所に直送する場合は、接種日の前日までに配送します。配送時間の指定を受けることが困難なため、接種当日の配送はお受けできません。また、配送日の指定もお受けできませんので、御了承ください。

ワクチンの配送・受け取り・保管のイメージ

ワクチン配送（接種日の前日まで）



接種計画表をもとに、接種日の前日までに市の拠点から施設へワクチンを冷凍配送

保管（接種当日まで）

冷蔵（2～8℃）



最長
31日以内

冷凍（-25～-15℃）



最長
14日以内

（４）ワクチン受取時の注意事項

＜ワクチン配送時の同封物（情報連携シート）について＞

この用紙は、接種に御協力いただく医療機関において**接種費用の請求事務に必要な**となるほか、**市と施設とのワクチンの受渡しを記載した**ものです。嘱託医や往診医が施設に赴いて接種される場合、医療機関用と施設控え用の2枚をお送りしていますので、医療機関用の用紙を接種協力医にお渡しください。

【医療機関用】																									
<p>(基本型接種施設記入欄)</p> <p>基本型接種施設名： 川崎市日吉合同庁舎</p> <p>受け渡し先のサテライト型接種施設名： 〇〇医院 (◆◆◆◆◆◆)</p> <p>受け渡した日付： 令和3年6月14日</p> <p>超低温冷凍庫から取り出した時刻： 令和3年6月14日 午前・午後 時 分</p> <p>受け渡したピアル数： 4 5 本</p> <p>受け渡したロット番号（製造番号）： EY0583</p>	<p>(サテライト型接種施設記入欄)</p> <p>冷蔵(2～8℃) 保管期限：令和3年7月15日 午前・午後 時 分</p> <p>冷凍(-25～-15℃) 保管期限：令和3年6月28日 午前・午後 時 分</p> <p>(注) 冷蔵保管期限は、左の「超低温冷凍庫から取り出した時刻」に+31日、冷凍保管期限は+14日と記す。(例: 超低温冷凍庫から取り出した時刻が4月1日午前10時の場合、冷蔵保管の使用期限は5月1日を日付で冷蔵保管で4月15日の午前10時と記す。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用日</th> <th>使用本数</th> <th>残り本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	使用日	使用本数	残り本数																					
使用日	使用本数	残り本数																							

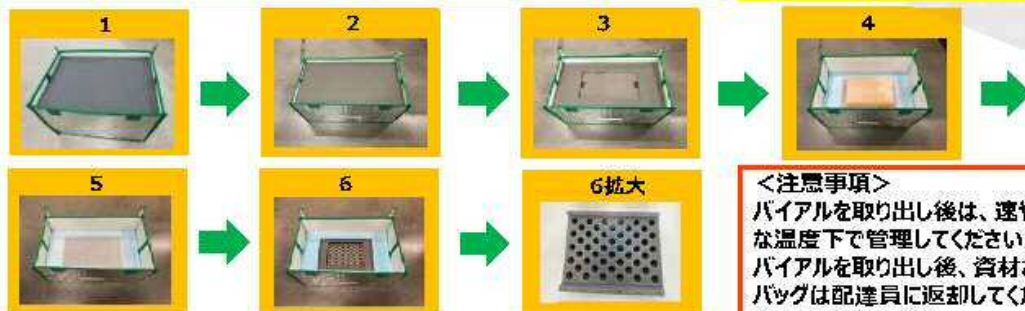
- ① ワクチンの配送元施設が記載されています。医療機関の請求事務の際に、どこから融通されたワクチンなのかを入力するので必要となります。
※本市HP上での御案内（【医療機関の皆様へ】新型コロナワクチン個別接種情報 <https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000128710.html>）は、「川崎市健康福祉局」となっていますが、こちらに記載の施設名で入力が必要です。
- ② 接種協力医療機関名と接種先の施設名が記載されています。
- ③ ワクチンの配送日が記載されています。(①と同様、医療機関における請求事務で必要となります。)
- ④ 配送ピアル数が記載されています。(①と同様、医療機関における請求事務で必要となります。)
- ⑤ 配送したワクチンのロット番号が記載されています。(①と同様、医療機関における請求事務で必要となります。)
- ⑥ 保管期限を記載しています。必ずこの期限内で接種を行ってください。
- ⑦ 施設側で管理のため記載する表です。

施設ご担当者様向け：保冷バッグ開封手順のご案内

①保冷バッグ開封手順 ★下記写真と合わせてご確認ください★

1. 保冷バッグを開ける
2. 断熱シートを取り出す
3. 断熱材ガイドを取り出す
4. 保冷剤を取り出す
※必ず厚手の手袋を着用してください
5. シートを取り出す
6. バイアルホルダーからバイアルを取り出す
7. 取り出した資材をもとに戻し、保冷バッグを配達員へ渡してください

※必ず厚手の手袋を着用して作業をして下さい※



<注意事項>

バイアルを取り出し後は、速やかに適切な温度下で管理してください。
バイアルを取り出し後、資材および保冷バッグは配達員に返却してください。
後日回収いたします。

(5) 接種用消耗品（針、シリンジ等）はワクチンと一緒に納品します。国から配布されるものを使用させていただくため、配送時期によって製品が変更となる場合もございます。接種用・希釈用を取り違えることのないよう御確認ください。



大塚製薬
生理食塩水

1本

見本



NIPRO
希釈用注射針

1本



TSK
接種用注射針

6本



BD
希釈用シリンジ

1本



NIPRO
接種用シリンジ

6本

第3章 接種当日のイメージ

巡回接種における事故を防止するため、接種を担当される医師と施設・事業所とで、接種体制や当日の役割分担等について事前に打合せを行っていただくことが望ましいです。

＜既に施設・事業所内接種に従事していただいた医療機関からの御助言＞

- ・施設等の従事者の皆様の協力がないと難しいです、慣れている人についていてもらう必要があります。
- ・現場からは事前に情報をもらい、打合せにも来ていただきました。
- ・事前に出来ることは行っておき、その場での接種が混乱しないようにすることが大事です。
- ・本人確認が難しいので、「この人打った？」が一番怖いです。一方通行の動線、施設等の従事者の手厚い配置など、「流れ」は重要です。

1 接種券・予診票の準備

住民票所在地に接種券と予診票が送付されるため、接種日までに本人又は御家族から接種の同意を取っていただき、施設・事業所で取りまとめてください。

2 人員・場所

(1) 人員体制

医療機関や施設・事業所の状況に応じて、接種体制を確保してください。

[接種体制の例]

＜予診及び接種担当＞

- ア 予診担当 医師 1 名
- イ 接種担当 医師（予診と同じ医師での対応可）又は看護師 1 名
- ウ 薬液充填及び接種補助担当 看護師又は薬剤師 1 名

＜経過観察等＞

- ア 接種後の状態観察担当 必要人数（看護師等の医療従事者が望ましいですが、生活支援員等でも可能です）
- イ 検温、記録、予診票確認、接種済証の発行等を行う事務 必要人数

(2) 接種場所

共有スペースや医務室等で接種を行ってください。

接種後、15 分間（人によっては 30 分間）経過観察を行う必要があるため、共有スペース等で一定程度集まって実施することが想定されます。障害特性によっては、日頃活動する作業室等の活用も考えられます。

3 救急体制の確認

接種場所でアナフィラキシー等が発生した場合に備えて、救急用品の準備や使用方法、救護スペースの確保、スタッフの役割分担、初期対応を行う場合の対応方法（接種医との役割分担）等をあらかじめ確認しましょう。

4 用意する物品

接種に必要な物品 【ファイザー社資料】

k

救急用物品

l

医療従事者用物品

m

医療用物品

・救急用物品、マスク、聴診器等は接種施設にてご準備ください

※接種医療機関と相談の上、施設側で手配可能な物品は御用意ください。

	物品名
<div>k</div> <div>救急用物品</div> <div>※ 接種会場の救急体制を踏まえ、必要な物品を準備すること</div> <div>※ 右記は代表的な物品を記載</div>	血圧計
	静脈路確保用品
	輸液セット
	生理食塩水
	アドレナリン、抗ヒスタミン剤、抗けいれん剤、副腎皮質ステロイド剤等の薬液

	物品名
<div>l</div> <div>医療従事者用物品</div>	マスク
	使い捨て手袋（S・M・L）
	使い捨て舌圧子
	膿盆
	聴診器
	ペンライト
	物品名
<div>m</div> <div>医療用物品</div>	消毒用アルコール綿
	トレイ
	体温計
	医療廃棄物容器、針捨て容器
	手指消毒剤

最新情報および費用負担は厚生労働省からの通知（事務連絡）を参照ください

掲載内容は2021年6月14日時点の情報です

最新情報および適用負担は厚生労働省からの通知（事務連絡）を参照ください

掲載内容は2021年6月14日時点の情報です 13

5 接種の流れ ※（４）から（６）は接種医療機関側での対応となります。

（１）会場設営

順番待ちスペース、予診・接種場所、経過観察スペース等を確保します。

（２）検温、血圧測定等

接種予定者の検温、必要に応じて血圧測定を行います。

（３）予診票の事前確認

記入漏れ、既往歴等を確認します。



（４）接種準備

ア 解凍

本人又は御家族に対して丁寧な説明を行うとともに、障害の特性に応じた対応を行ってください。

ワクチンの解凍 【ファイザー社資料】

- ・ 冷蔵庫（2～8℃）の場合は3時間以内、室温の場合は30分以内に解凍されます
- ・ いずれの場合も解凍後の保存期間にご注意ください

手順	イメージ
2～8℃の冷蔵庫において、3時間以内に解凍されます ※ 個々のバイアルをバイアル箱から取り出して解凍する場合、解凍時間は短くなります ※ 冷蔵庫で解凍した場合、2～8℃で1か月保存することができます ※ 冷蔵庫で解凍した日時を各バイアルやトレーに明記するなど、冷蔵保存期間を適切に管理してください ※ 解凍後は再冷凍しないでください ※ 室内照明による曝露を最小限に抑えてください ※ 直射日光および紫外線が当たらない場所で解凍してください	
（お急ぎの場合）室温で30分以内に解凍することもできます ※ 解凍および希釈を2時間以内に行ってください ※ 室内照明による曝露を最小限に抑えてください ※ 直射日光および紫外線が当たらない場所で解凍してください ※ 解凍後は、再冷凍しないでください ※ 解凍後から希釈までの間に冷蔵庫での保存は行わないでください	

掲載内容は2021年6月14日時点の情報です 11

イ 希釈

ワクチンの希釈【ファイザー社資料】

- ・ワクチンを日局生理食塩液で希釈し、希釈した日時をバイアルラベルに記録してください
- ・希釈の作業は医療用手袋を着用し、直射日光や紫外線の当たらない場所で行ってください




手順	イメージ	手順	イメージ
1. (冷蔵庫で解凍した場合) バイアルを冷蔵庫から取り出し、室温下に置き、室温に戻してください ※室温に戻した後は、手順2までの間に冷蔵庫での保存は行わないでください		4. 針を抜く前に、空になった希釈用シリンジに空気を1.8mL吸引してください ※無菌操作を徹底するため、1つの日局生理食塩液のプラスチックアンプルで、2つ以上のワクチンバイアルを希釈せず、余った日局生理食塩液は廃棄してください	
2. バイアルを上下にゆすり10回反転（転倒混和）させてください ※室温に戻した解凍後のバイアルは2時間以内に希釈してください ※バイアルは強く揺らないでください		5. 日局生理食塩液を注入したバイアルを上下にゆすり、白色の均一な液になるまで10回程度反転（転倒混和）させてください ※バイアルは強く揺らないでください ※希釈後は白色の液となります。液中に粒子や変色がないことを目視確認してください。液中に粒子や変色が認められる場合には使用しないでください	
3. 日局生理食塩液のプラスチックアンプルとワクチンバイアルをアルコール綿で清拭し、希釈用シリンジに1.8mLの日局生理食塩液を吸引し、バイアル内に注入してください ※希釈用注射針は21Gもしくは21Gよりも細いものが推奨です（他の規格については、医療機関側の判断により使用ください）		6. 希釈した日時をバイアルのラベルに記録し、2〜30℃で保存してください ※再冷凍せず6時間以内に接種してください ※保存する際は室内照明による曝露を最小限に抑え、直射日光および紫外線が当たらないようにしてください ※冷蔵庫に保存した場合は使用前に常温に戻してください ※接種シールとバイアルのロット番号が一致していることを確認し保存してください	

掲載内容は2021年6月14日時点の情報です 12

ウ 注射器への吸引

ワクチンの注射器への吸引【ファイザー社資料】

- ・希釈したバイアルから接種量0.3mLの接種液を接種用のシリンジに吸引してください

手順	イメージ
7. 接種用の注射針およびシリンジを準備してください ※ 国から提供された注射針・シリンジを使用してください	
8. 希釈したバイアルから接種量0.3mLの接種液を接種用のシリンジに吸引してください ※ 粒子および変色がないことを目視で確認してください。粒子および変色が認められる場合は使用しないでください ※ 希釈後の液は6回接種分（1回0.3mL）を有しています。デッドボリュームの少ない注射針・シリンジを使用した場合、6回分を採取することができます。標準的な注射針・シリンジ等を使用した場合、6回分の接種分を採取できないことがあります。1回0.3mLを採取できない場合、残量は廃棄してください ※ 接種液の容量に余剰がないため、注射針を刺した状態で余分な接種液を戻す、空気を抜くなどの操作を行ってください	
9. 接種液を吸引したシリンジを医療用パット等の上に置いてください	

掲載内容は2021年6月14日時点の情報です 13

エ 受付

接種予定者リスト等をもとに、接種対象者が確認します。受付を設けない場合は、予診時の本人確認を徹底してください。

オ 予診

接種前に必ず問診、検温及び診察によって健康状態を調べます。本人又は御家族に、接種当日は過激な運動は避け、接種部位を清潔に保ち、また、接種後の健康監視に留意し、局所の異常反応や体調の変化、さらに高熱、痙攣等の異常な症状があった場合には速やかに医師の診察を受けるよう、事前に知らせます。接種前に過敏症の既往歴

予診の結果、異常が認められ、次の接種不適当者に該当する疑いがあると判断される方に対しては、当日は接種を行わないでください。

※コミナティ筋注の基本情報（2021年5月改訂（第4版））参考

※新型コロナウイルスワクチンを安全に接種するための注意とポイント

（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業監修）参考

（５）接種

ア 接種時の注意

- （ア）予防接種に従事する際は、手指を消毒します。手袋を使う場合は毎回交換します。
- （イ）ワクチンは絶対に再凍結させないでください。溶解は接種直前に行い、一度溶解したものは直ちに使用してください。溶解の前後にかかわらず光が当たらないよう注意し、適切に使用してください。
- （ウ）接種液の使用に当たっては、有効期限内のものを均質にして使用します。
- （エ）バイアル入りの接種液は、栓及びその周囲をアルコール消毒した後、栓を取り外さないで吸引します。

1 穿刺部位の確認

注射部位は三角筋中央部です。肩峰から真下に3横指程度下の位置が目安になります。

接種部位が上方すぎると**ワクチン関連肩関節障害**を、下方すぎると**橈骨神経障害**を起すリスクがあるので、注意が必要です。



2 穿刺部位の消毒

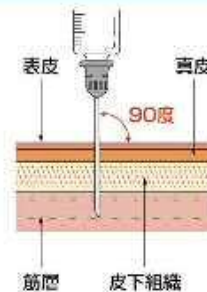


穿刺部位を中心から外側に向けて円を描くように、直径5cm以上の範囲を消毒綿で拭いてください。
アルコールが乾燥するまで待ちます。

3 穿刺



利き手でシリンジを持ちます。
注射部位周辺の皮膚を軽く広げるようにやさせてから三角筋の外縁に手を添えます。
注射針を皮膚に約90°の角度で素早く刺してください。



大事なことは
筋肉内に針を刺し、
薬液を注入
することです。

1 薬液を注入



三角筋には大きな血管がないので、陰圧をかけて血液の逆流を確認する必要はありません。

シリンジと注射針が安定するように工夫して持ち、適度な速度で注入してください。

2 抜針



穿刺部位に消毒綿をあて、素早く針を抜いてください。

3 消毒綿で注射部位を押さえる



接種後は揉まないで、軽く押さえます。抗凝固療法や抗血栓療法を受けている人には、最低2分間強めに押さえてもらいます。

4 使用済の針の処理



針刺し事故防止、および感染の危険があるため、針はリキャップせずに注射器ごとただちに専用廃棄容器に捨ててください。

5 接種直後に声かけをする



被接種者に終了したことを伝え、異常がないか声をかけてください。



接種後は、必ず手指消毒をしてください。
手袋をしている場合は、手袋をはずして手指消毒をしてから、新しい手袋を着用してください。

イ 接種後の注意

- (ア) 接種部位を清潔に保ち、接種当日は過激な運動を避けてもらいます。
 - (イ) 接種後、接種局所の異常反応や体調の変化を訴える場合は、速やかに医師の診察を受けるよう伝えます。
 - (ウ) ワクチン接種直後又は接種後に注射による心因性反応を含む血管迷走神経反射として失神が表れることがあります。失神による転倒を避けるため、接種後一定時間は座らせるなどした上で被接種者の状態を観察することが望ましいです。
- ※余剰となったワクチンは、無駄なく接種を行っていただく必要があることから、別日程で1回目の接種を控えている利用者、近隣施設等の利用者・施設従事者又はその家族等と、可能な限り接種の調整をしていただきますようお願いします。

ウ 接種に当たっての事務

(ア) 通常の接種券

- ① 接種券の「接種券（接種した場合）のシール」と「接種をできない場合（予診のみ）のシール」のいずれかを予診票の右上の欄に貼ります。
- ② ワクチンの「ロット番号シール（大）」を接種券右側の接種済証に貼り、「接種年月日」と「接種場所」を記載します。
- ③ ワクチンの「ロット番号シール（小）」を予診票の1枚目と2枚目の左下に貼ります。
- ④ 予診票の医師記入欄に必要事項を記入し、確認・回収します。

例 1回目を接種した場合

接種券

接種回数	接種年月日	接種会場
1回目	2021年 月 日	接種会場
2回目	2021年 月 日	接種会場

接種を受ける方へ

- シールは剥がさず、右記と接種場所へお持ちください。
- 右側の予防接種記録は接種が終わった後も大切に保管してください。



BNT162 XXXXXXXXX
ファイザー EXP: YYYY/MM/DD

①

新型コロナウイルスワクチン接種の予診票

接種者氏名 姓 山田 名 太郎 性別 男 年齢 20 接種回数 1回目

接種年月日 2021年 月 日 接種会場 接種会場

接種券の「ロット番号シール（大）」を接種記録書に貼り、「接種年月日」と「接種会場」を記載します。

接種券の「ロット番号シール（小）」を接種券付き予診票の左下に貼ります。

接種券付き予診票の医師記入欄に必要事項を記入し、確認・回収します。

(イ) 接種券付き予診票

- ① ワクチンの「ロット番号シール（大）」を接種記録書に貼り、「接種年月日」と「接種会場」を記載します。
- ② ワクチンの「ロット番号シール（小）」を接種券付き予診票の左下に貼ります。
- ③ 接種券付き予診票の医師記入欄に必要事項を記入し、確認・回収します。

例 1回目を接種した場合

新型コロナウイルスワクチン接種記録書
Record of Vaccination for COVID-19

接種回数	接種年月日	接種会場
1回目	2021年 月 日	接種会場
2回目	2021年 月 日	接種会場

氏名 姓 山田 名 太郎 性別 男 年齢 20

住所 接種年月日 年 月 日

①



BNT162 XXXXXXXXX
ファイザー EXP: YYYY/MM/DD

②

新型コロナウイルスワクチン接種の予診票（1回目）

接種者氏名 姓 山田 名 太郎 性別 男 年齢 20 接種回数 1回目

接種年月日 2021年 月 日 接種会場 接種会場

接種券の「ロット番号シール（大）」を接種記録書に貼り、「接種年月日」と「接種会場」を記載します。

接種券の「ロット番号シール（小）」を接種券付き予診票の左下に貼ります。

接種券付き予診票の医師記入欄に必要事項を記入し、確認・回収します。

③

(6) 接種記録システム（VRS）

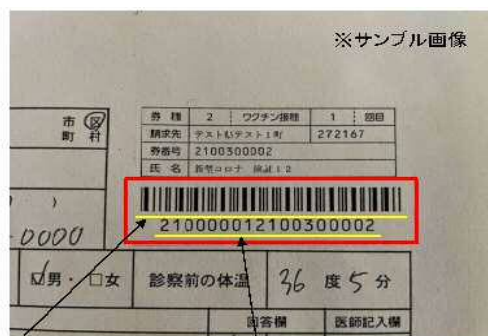
ア 概要

ワクチン接種の際に、接種者の情報を国が配布する端末等にて読み取り、一人一人の接種情報が接種記録システムに登録されます。これにより、住所地外での接種状況も含め、逐次で接種状況を把握することができ、様々な問い合わせに対応することが可能となります。なお、接種会場・ロット番号・医師毎に登録する必要があります。

イ 読み取り方法等

(ア)読み取りカメラで、予診票右上に貼られた接種券のOCRラインを読み取ります。

(イ)読み取り面とカメラの距離は、約7.5cm離すとスムーズに読み取れます。



バーコード OCRライン(18桁)

(7) 接種後の経過観察

接種が終わった後、アナフィラキシーや血管迷走神経反射等の症状が生じることがあるため、一定期間観察を行ってください。少なくとも15分以上背もたれのある椅子で休んでもらい、アナフィラキシーの既往がある方については特に注意するため、30分の経過観察が必要です。

※二重接種防止のため、視覚的な工夫をお願いします(シールで色分け、観察場所区別等)。

6 接種終了後

施設・事業所内での巡回接種者人数を把握するため、なるべく接種日当日に、接種報告書を用いて接種者の人数・内訳を御報告願います。

新型コロナウイルスワクチン接種報告書

提出日: ●月●日

施設名		電話番号	
担当者名		メールアドレス	
施設利用者人数	人		

巡回接種(施設・事業所内における接種)

1 回目 接種	接種日	接種者内訳		接種合計
		利用者	従事者等	
	実施分	人	人	0人
	実施分	人	人	0人
	実施分	人	人	0人
	合計	0人	0人	0人
2 回目 接種	接種日	接種者内訳		接種合計
		利用者	従事者等	
	実施分	人	人	0人
	実施分	人	人	0人
	実施分	人	人	0人
	合計	0人	0人	0人
医療機関名				
医療機関所在地				

その他接種(施設外(集団接種・個別接種・従事者専用会場)での接種)

1 回目 接種	接種日	接種者内訳		接種合計
		利用者	従事者等	
	実施分	人	人	0人
	実施分	人	人	0人
	実施分	人	人	0人
	実施分	人	人	0人
	実施分	人	人	0人
	合計	0人	0人	0人
2 回目 接種	接種日	接種者内訳		接種合計
		利用者	従事者等	
	実施分	人	人	0人
	実施分	人	人	0人
	実施分	人	人	0人
	実施分	人	人	0人
	実施分	人	人	0人
	合計	0人	0人	0人

(1) 報告書の提出について

- ・1回目接種完了後、2回目接種完了後の2回、メールで報告してください。(各接種完了日の翌日午後12時までに提出)
- ・提出先メールアドレス: 40vaccine@city.kawasaki.jp 【川崎市健康福祉局保健所 新型コロナウイルスワクチン調整室】
- ・メール送信の際の件名は、「【施設名】巡回接種報告書」としてください。

(2) 記入方法について

- ・黄色塗り潰しのセルのみ入力してください。
- ・施設内で巡回接種を実施した分は上段の表に、集団接種会場・個別医療機関での接種・従事者専用会場で接種をした分については、下段の表に入力してください。

見本

提出先アドレス

40vaccine@city.kawasaki.jp

第4章 各種相談窓口・リンク先

○川崎市新型コロナウイルスワクチン予約コールセンター（接種予約に関する相談）

電話番号：0120-654-478（8:30～18:00）

FAX：044-953-6339（耳の不自由な方用）

○川崎市新型コロナウイルス感染症コールセンター（一般的な相談）

電話番号：044-200-0730（24時間）

○神奈川県専門相談センター（ワクチン副反応の専門相談）

電話番号：045-285-0719（24時間）

○厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター

電話番号：0120-761770（9:00～21:00）

○厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html

○コロナワクチンナビ

<https://v-sys.mhlw.go.jp/>

○新型コロナワクチンの説明書等について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_yoshinhyouetc.html

○ワクチンの安全性・有効性等について厚生労働省のHP

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_pfizer.html

○新型コロナワクチンの接種による副反応について厚生労働省から発表されている報告等

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_hukuhannou-utagai-houkoku.html

○ワクチンの取り扱いや溶解・希釈方法についてファイザー社のHPに掲載されている資料・動画等

<https://www.pfizer-covid19-vaccine.jp/#/VaccineTreatmentMethod>

※各自治体の担当者※2⇒ワクチンの取り扱い⇒ワクチンの取り扱い（PDF 資料）や溶解希釈方法（動画）等で御確認いただけます。

○接種券シールの貼付・接種に必要な物品について厚生労働省で掲載している資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_iryokikanhenoshirase.html

※接種券シールの貼付：接種の実施→接種の進め方のPDF 資料の13頁

必要物品：接種の準備→物品の準備のPDF 資料

で、それぞれ御確認いただけます。

新型コロナウイルスワクチン
障害福祉サービス事業所等における
接種に関するガイドブック

発行者 川崎市健康福祉局保健所
新型コロナウイルスワクチン調整室
巡回接種担当
発行年 令和3年7月

TEL044-200-1089 FAX044-200-1065